

# 音楽コンサート 徐々に動き出す

## 「プチ・ボヌール」コンサートをスタート 藤波結花ミュージック・プロ主催



ヴァイオリン忍者「幽兵」としても売り出し中の山中裕平さんと藤波さん(右)

コロナ禍で自粛を強いられた音楽コンサートが徐々に開催されている。感染予防に配慮が必要だが、不足している心の栄養には音楽などの癒しが効果的。比較的静かに楽しめるコンサートに出かけてみたい。

藤波結花ミュージック・プロダクションが主催する「プチ・ボヌール」コンサートが9月26日、青梅市東青梅のサウン

ドコレクシオン吉澤で、14時開演。開かれる。13時30分開演。14時開演。「petit bonheur」(小さな幸せ)が日常にプラスされる、笑顔の交流が広がることを願って、月1度の日程で平日午後1時30分後に開催していく。音楽と他ジャンルとのコラボレーションが売り物で、第1弾はマジックとヴァイオリン、ピアノが共演

リン、ピアノの異色の取り合わせ。ピアノの藤波結花さん、ミュージシャンとマジシャンの2つの顔を持つ土方香枝、ヴァイオリン忍者「幽兵」としても売り出し中の山中裕平さんが共演する。曲目は「情熱大陸」「カルメン」「チャルダッシュ」ほか。30席限定で、チケット代は3000円。藤波さんは「訪れた方々の活力となるようなひと時を提供できたら」と話している。問い合わせ

## 「神社に響く邦楽演奏会」 NPO法人音楽のちから・ チャンステーマが主催

10月2日 新町御嶽神社  
邦楽、洋楽、古典から近代とジャンルを問わず多彩な演奏会を開催しているNPO法人音楽のちから・チャンステーマ(水村礼子代表)は10月2日、青梅市新町の新町御嶽神社で「神社に響く邦楽演奏会」を開く。15時開演、15時30分開演。出演は青梅三曲会会長の広田央山さん、都山流師範の棚橋千桃山

さんの尺八と、山田流箏曲大師範の岩浪由り扇さんが共演する。曲目は「紅葉」「六段の調」ほか。会場は同神社参集室で、チケット代は1000円。水村代表は「日本人の感性に深く響く邦楽を身近に感じるよい機会になります」と来場を呼び掛けている。また、10月30日には同市千ヶ瀬町の宗建寺本堂で、「スリーストリングスコンサート」の秋の風にのせて」を開く。渡邊真位さんのア

歌、細川晶生さんのフルメンコギター、竹中章人さんのヴァイオリンで「Danny boy」「紅葉」などを披露。人生の喜び、哀愁に満ちた音楽が本堂

に響く。15時開演、15時30分開演。チケット代は3000円。問い合わせは090(5400)7381水村まで。

## 持続可能な印刷業に挑む

印刷業の現状を語る時、紙媒体からデジタルへの移行が強調される。確かに、新聞や雑誌といったメディアではそうした傾向が進み、1998年、34歳のときに独立している。

美光印刷創業の経緯を、加羽澤綾専務はこう話す。当時、本社および工場は瑞穂町にあり、5、6年して現在の青梅市新町の工業団地に移った。商業印刷一本に絞ったところで、大量ロットの折込チラシを刷るために昼夜3台の印刷機がフル回転していた。

### 美光印刷 加羽澤綾氏



加羽澤専務は、武蔵工業大学(現東京都立大学)を卒業し、都内の中堅印刷会社に就職して印刷のいろはを学ぶ。「印刷会社の持続に必要なのは企画力とデジタル力だと思ふ。僕が担当して、ウェブサイトを作成するかわら、最近では紙媒体だけにこだわるのではなく、多摩産材の加工や店舗内外装のデザインなども手がけている」

奥多摩などで育つ木材への着目は同社のSDGs(持続可能な開発目標)に掲げる「地域社会の持続的な発展にむけて」という宣言の具現化である。基本にあるのは多様化するニーズへの対応と環境

このような体制ができたのは、技術力もさることながら、社長の経営姿勢。受けた仕事は断らないという前向きさが信用につながり、身近にそんな父親を見ていた

「しかし、いまは少数精鋭。最新のデジタル技術が投入されたオフセット機でカタログや会社案

ト機でカタログや会社案

どこに行っても治らなかった方へ(3密対策を徹底)  
秋川駅北口 (エアドック設置) 42年の実績  
**太田ハリ灸治療院**  
042(550)5591 完全予約診療(当日予約も可) 土日も診療  
初診料 3,000円 治療費 3,500円 (学生2,500円)  
この広告で来院した方は初診料無料  
坐骨神経痛、ヘルニア(腰、頸椎)、脊椎管狭さく、五十肩、ひざ関節症、肩こり、エルボ(テニス・ゴルフ)、湿疹、スポーツ障害など  
坐骨神経痛=お尻から足にかけて痛み、シビレで歩くことが困難な方  
あきる野とうきゅう ココ(5階建ビル) 五日市街道 ●西武信金 秋川駅 あきる野市秋川1-1-13ABCビル3階 秋川駅徒歩1分  
笹原プロは「私が元気に大会に出場できるのは痛めた腰・肩の治療を受け、体のケアをしているからです」

### 街プレ・東京25ジャーナル通信員を募集

地域の情報を提供してくれる街プレ・東京25ジャーナル通信員を募集します。イベントや寺社の祭り、店舗の開店、地域で話題になっている出来事や人物などの情報を提供してください。記事の書き方や写真の押さえ方、必要事項やメール送付の仕方などについては9688岡村まで。

講習会を開き、指導します。年齢、経験不問。地域を歩き、人に会うのが好きな人を歓迎します。

申し込みは、氏名・年齢・性別・郵便番号、住所・電話番号を明記の上、メール okamura.nobuyoshi@gmail.com まで(0460)9688岡村まで。